

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月8日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 海堀 周造  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 吉川 光 (TEL) (0422)52-5530  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	157,751	2.9	6,816	76.1	4,216	128.7	726	-
23年3月期第2四半期	153,341	1.8	3,871	-	1,844	-	△3,489	-

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △6,269百万円 (-%) 23年3月期第2四半期 △9,774百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.82	-
23年3月期第2四半期	△13.55	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	342,456	138,944	39.5
23年3月期	361,233	145,232	39.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 135,307百万円 23年3月期 141,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年3月期	-	0.00	-	-	-
24年3月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 現時点では平成24年3月期の期末配当予想額を未定としていますが、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	3.2	15,000	35.4	12,000	39.7	6,000	-	23.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、〔添付資料〕5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	268,624,510株	23年3月期	268,624,510株
24年3月期2Q	11,072,630株	23年3月期	11,071,323株
24年3月期2Q	257,552,377株	23年3月期2Q	257,567,874株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、〔添付資料〕3、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料]

添付資料の目次

	(ページ)
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
<参考資料>平成24年3月期 第2四半期連結決算情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における世界経済は、主にアジアを中心とする新興国の経済成長に支えられ、全体としては緩やかな拡大基調が継続しましたが、欧州の金融不安の深刻化や米国の景気停滞など景気の先行きに対する不透明感は一段と強まりました。

日本経済は、東日本大震災による景気の落ち込みからは着実な回復が見られるものの、夏期の電力供給不足や急激な円高の進行、高止まり、また、欧米経済の停滞の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは海外で更なるビジネスの拡大に向けた活動に注力するとともに、国内では、震災による事業活動への影響を最小限に止める取り組み及び震災からの復興に向けた設備投資への対応を継続しました。その結果、前年同期との比較では売上高、営業利益とも増加しました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は1,577億51百万円（前年同期比 44億10百万円増）となり、営業利益は68億16百万円（前年同期比 29億45百万円増）となりました。

経常利益は、支払利息13億22百万円及び為替差損13億61百万円等の営業外費用により42億16百万円（前年同期比 23億72百万円増）となり、四半期純利益は、法人税等24億74百万円等により7億26百万円（前年同期は 34億89百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### 制御事業

制御事業は、日本市場において、一部に東日本大震災からの復興に向けた需要がみられたものの、夏期の電力供給不足や急激な円高の進行、高止まりによる設備投資意欲の減退などにより、市場の先行きが不透明な状況で推移しました。一方、海外市場では、引き続き東南アジア諸国、中国、インド、ブラジル、オーストラリアなどの市場で、エネルギープラントや電力プラントなどの需要が堅調に推移しました。これらの結果、同事業の売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当第2四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,298億33百万円（前年同期比 60億52百万円増）、営業利益は78億99百万円（前年同期比 11億88百万円増）となりました。

#### 計測機器事業

計測機器事業のうち測定器ビジネスの市場では、中国において景気減速の懸念があったものの、省エネや新興国のインフラ整備に対するニーズの高まりから、電力測定器や光関連測定器の需要が堅調に推移した結果、同ビジネスの売上高は前年同期と比べ増加しました。また、半導体テストビジネスの市場では、メモリ前工程向けテスト分野において、顧客の設備投資の動きが見られたことから、同ビジネスの売上高も前年同期と比べ増加しました。

これらの結果、計測機器事業全体の売上高は前年同期と比較して増加し、営業損益は、これまで実施してきた構造改革による固定費及び研究開発費の減少などにより、損失が減少しました。

当第2四半期連結累計期間における同事業の売上高は182億52百万円（前年同期比 2億27百万円増）、営業損失は8億1百万円（前年同期比 20億97百万円損失減）となりました。

#### その他事業

当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は96億66百万円（前年同期比 18億69百万円減）、営業損失は2億82百万円（前年同期は 58百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において、以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,424億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ187億76百万円減少しました。現金及び預金が32億25百万円、受取手形及び売掛金が89億66百万円、有形固定資産が21億88百万円、投資有価証券が15億38百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

負債合計は2,035億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ124億88百万円減少しました。支払手形及び買掛金が38億76百万円、未払金が15億5百万円、その他流動負債が41億46百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

純資産は1,389億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億88百万円減少しました。利益剰余金が7億43百万円増加し、為替換算調整勘定が58億48百万円、その他有価証券評価差額金が14億83百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は544億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億2百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益35億0百万円に対し、プラス要因である減価償却費56億74百万円、売上債権の減少35億53百万円等と、マイナス要因である特別退職金等の支払額33億70百万円、法人税等の支払額27億31百万円等の調整の結果、前年同期に比べ15億19百万円収入が減少し、43億13百万円の収入となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出36億20百万円、無形固定資産の取得による支出27億59百万円等により、前年同期に比べ2億99百万円支出が増加し、46億8百万円の支出となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入等により、5億12百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月9日発表の平成24年3月期通期連結業績予想を以下のとおり変更しました。

当第2四半期連結累計期間の実績が前回発表予想を上回ったこと等を踏まえ、売上高予想を30億円、営業利益予想及び経常利益予想を20億円、当期純利益予想を10億円それぞれ上方修正しました。

セグメント別には、制御事業では、受注高予想及び売上高予想を20億円、営業利益予想を15億円それぞれ上方修正しました。計測機器事業では、売上高予想を10億円、営業利益予想を5億円それぞれ上方修正しました。その他事業については、受注高予想を10億円下方修正しましたが、売上高予想及び営業利益予想は据え置きました。

なお、連結業績予想の前提となる為替レートは、米ドルを80円から77円に、ユーロを110円から105円にそれぞれ変更しています。

平成23年8月9日の第1四半期決算短信で発表した通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	333,000	13,000	10,000	5,000	19.41
今回発表予想 (B)	336,000	15,000	12,000	6,000	23.30
増減額 (B) - (A)	3,000	2,000	2,000	1,000	3.88
増減率 (%)	0.9%	15.4%	20.0%	20.0%	—
(参考)前期実績 (平成23年3月期)	325,620	11,079	8,590	△6,692	△25.98

(注) 連結業績予想の下期為替レートは、1米ドル=77円、1ユーロ=105円を前提としています。

(参考) セグメント別 通期連結業績予想  
受注高 (通期)

(単位：百万円)

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想	増減
制御事業	290,000	292,000	2,000
計測機器事業	41,000	41,000	0
その他事業	24,000	23,000	△1,000
合計	355,000	356,000	1,000

売上高 (通期)

(単位：百万円)

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想	増減
制御事業	270,000	272,000	2,000
計測機器事業	40,000	41,000	1,000
その他事業	23,000	23,000	0
合計	333,000	336,000	3,000

営業利益 (通期)

(単位：百万円)

	前回発表予想 (8/9)	今回発表予想	増減
制御事業	16,500	18,000	1,500
計測機器事業	△3,500	△3,000	500
その他事業	0	0	0
合計	13,000	15,000	2,000

<業績予想のご利用にあたっての注意事項>

上記業績予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたもので、実際の業績は予想と異なることがあり得ます。

業績の変動要因となり得る主なものは以下のとおりです。

- ・米ドル、ユーロ、アジア通貨、中東通貨を中心とした為替相場の変動
- ・主要市場における経済情勢の急変
- ・貿易規制などのビジネス環境の変化
- ・市場における製品需給の急激な変動
- ・日本の株式相場の変動
- ・自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・地震、洪水、津波などの自然災害の発生

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法によっていましたが、過去2年間の事業構造改革における事業ポートフォリオの見直しにより、使用可能期間にわたり減価償却費を均等配分することが、今後の有形固定資産の利用形態の観点からより適切であると判断し、第1四半期連結会計期間より、主として定額法へと変更しています。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の営業利益は591百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は683百万円それぞれ増加しています。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

### 【追加情報】

(研究開発費の取り扱いの変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、研究開発費について、従来、基礎研究活動に係る費用を一般管理費として計上する一方で、製品開発活動に係る費用については、ハードウェア開発と同時並行で生産設計・生産準備活動といった製造活動を行ってきた経緯から、当期製造費用として計上していました。しかしながら、昨今の技術動向の変化により製品開発の主体がソフトウェア開発へと移行していく中で、過去2年間の事業構造改革における事業ポートフォリオの見直しにより、今後の研究開発活動についてはハードウェア開発の占める割合が減少し、製造との一体活動も縮小することが見込まれることから、第1四半期連結会計期間より、当期製造費用として計上していた研究開発費の一部を、一般管理費として計上しています。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は10,044百万円増加していますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は413百万円それぞれ減少しています。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,663	55,438
受取手形及び売掛金	103,492	94,526
商品及び製品	16,477	16,256
仕掛品	8,745	7,690
原材料及び貯蔵品	10,250	11,482
その他	12,682	10,603
貸倒引当金	△3,175	△2,759
流動資産合計	207,136	193,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,927	47,091
その他(純額)	32,174	31,821
有形固定資産合計	81,101	78,913
無形固定資産		
投資その他の資産	30,095	29,986
投資有価証券	31,731	30,193
その他	11,535	10,483
貸倒引当金	△368	△357
投資その他の資産合計	42,899	40,319
固定資産合計	154,096	149,219
資産合計	361,233	342,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,806	24,930
短期借入金	54,258	57,386
未払法人税等	3,270	2,435
賞与引当金	11,526	10,706
未払金	12,828	11,322
その他	41,402	37,255
流動負債合計	152,093	144,037
固定負債		
長期借入金	56,739	53,176
退職給付引当金	2,067	1,927
その他	5,101	4,370
固定負債合計	63,907	59,474
負債合計	216,000	203,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	50,344	50,344
利益剰余金	73,011	73,754
自己株式	△11,001	△11,001
株主資本合計	155,755	156,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,145	661
繰延ヘッジ損益	△137	28
年金負債調整額	△374	△345
為替換算調整勘定	△15,686	△21,535
その他の包括利益累計額合計	△14,053	△21,190
少数株主持分	3,529	3,636
純資産合計	145,232	138,944
負債純資産合計	361,233	342,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	153,341	157,751
売上原価	99,178	90,667
売上総利益	54,163	67,084
販売費及び一般管理費	50,292	60,267
営業利益	3,871	6,816
営業外収益		
受取利息	160	165
受取配当金	366	333
持分法による投資利益	373	254
その他	930	800
営業外収益合計	1,830	1,555
営業外費用		
支払利息	1,538	1,322
為替差損	1,541	1,361
その他	777	1,471
営業外費用合計	3,857	4,154
経常利益	1,844	4,216
特別利益		
固定資産売却益	68	97
投資有価証券売却益	14	0
移転補償金	131	—
貸倒引当金戻入額	84	—
その他	48	—
特別利益合計	348	98
特別損失		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	121	87
減損損失	28	6
投資有価証券評価損	2,564	—
事業再編損	3	—
事業構造改善費用	163	707
その他	427	10
特別損失合計	3,312	814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,120	3,500
法人税、住民税及び事業税	2,180	2,342
法人税等調整額	△37	132
法人税等合計	2,142	2,474
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,262	1,025
少数株主利益	226	299
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,489	726

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△3,262	1,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,381	△1,504
繰延ヘッジ損益	△176	165
年金負債調整額	36	29
為替換算調整勘定	△4,981	△5,961
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△25
その他の包括利益合計	△6,511	△7,295
四半期包括利益	△9,774	△6,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,798	△6,410
少数株主に係る四半期包括利益	23	141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,120	3,500
減価償却費	6,682	5,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△146	△91
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,576	△541
投資有価証券売却損益(△は益)	△14	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	2,564	—
減損損失	28	6
売上債権の増減額(△は増加)	3,127	3,553
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,943	△1,981
仕入債務の増減額(△は減少)	587	△156
未払金の増減額(△は減少)	573	△410
その他	1,099	578
小計	7,863	10,130
利息及び配当金の受取額	1,430	1,610
利息の支払額	△1,547	△1,325
特別退職金等の支払額	—	△3,370
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,912	△2,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,833	4,313
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,099	△2,158
定期預金の払戻による収入	2,845	2,293
有形固定資産の取得による支出	△2,471	△3,620
有形固定資産の売却による収入	199	628
無形固定資産の取得による支出	△2,805	△2,759
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却及び償還による収入	48	2
その他	△14	1,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,308	△4,608
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	303
長期借入れによる収入	—	420
長期借入金の返済による支出	△24,118	△96
配当金の支払額	△516	△0
その他	△40	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,775	512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,252	△3,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,502	△2,902
現金及び現金同等物の期首残高	76,555	57,334
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76	△0
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,129	54,432

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	対前年同期比
制御事業	外部顧客への売上高	123,781	129,833	6,052
	営業利益	6,711	7,899	1,188
計測機器事業	外部顧客への売上高	18,025	18,252	227
	営業利益	△2,898	△801	2,097
その他事業	外部顧客への売上高	11,535	9,666	△1,869
	営業利益	58	△282	△340
四半期連結 損益計算書 計上額	外部顧客への売上高	153,341	157,751	4,410
	営業利益	3,871	6,816	2,945

(注) 1. 「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より、主として定額法へと変更しています。この結果、従来の方法による場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の「制御事業」の営業利益は345百万円増加し、「計測機器事業」の営業損失は182百万円、「その他事業」の営業損失は63百万円それぞれ減少しています。

2. 「追加情報」に記載のとおり、当社及び連結子会社で当期製造費用として計上していた研究開発費の一部を、第1四半期連結会計期間より、一般管理費として計上しています。この結果、従来の方法による場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の「制御事業」の営業利益は404百万円減少し、「計測機器事業」の営業損失は7百万円、「その他事業」の営業損失は0百万円それぞれ増加しています。

(参考) 地域ごとの売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		対前年同期比
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)
日本	63,235	41.2	60,771	38.5	△2,463
アジア	38,380	25.0	43,821	27.8	5,440
欧州	13,390	8.7	13,182	8.4	△208
北米	10,497	6.9	10,275	6.5	△221
中東	10,229	6.7	11,256	7.1	1,026
その他	17,607	11.5	18,445	11.7	837
連結売上高	153,341	100.0	157,751	100.0	4,410

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

<参考資料>

平成23年11月8日  
横河電機株式会社

## 平成24年3月期 第2四半期連結決算情報

(単位：百万円)

	H22/9		H23/9		対前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	153,341	—	157,751	—	4,410	—
営業利益	3,871	2.5%	6,816	4.3%	2,945	1.8%
経常利益	1,844	1.2%	4,216	2.7%	2,372	1.5%
当期純利益	△3,489	△2.3%	726	0.5%	4,216	2.8%
総資産	359,586		342,456		△17,129	
純資産	147,114		138,944		△8,170	
自己資本当期純利益率	△2.4%		0.5%		2.9%	
1株当たり当期純利益	△13.55円		2.82円		16.37円	
設備投資	5,482		5,934		452	
減価償却費	6,682		5,674		△1,008	
研究開発費	14,282		13,285		△997	
期中平均為替レート						
米ドル	87.99円		79.16円		△8.83円	
ユーロ	112.82円		113.52円		0.70円	

受注高

(単位：百万円)

	H22/9	H23/9	H24/3 予想
制御事業	137,640	151,859	292,000
計測機器事業	17,982	17,961	41,000
その他事業	14,067	9,135	23,000
合計	169,689	178,955	356,000

売上高

(単位：百万円)

	H22/9	H23/9	H24/3 予想
制御事業	123,781	129,833	272,000
計測機器事業	18,025	18,252	41,000
その他事業	11,535	9,666	23,000
合計	153,341	157,751	336,000

営業利益

(単位：百万円)

	H22/9	H23/9	H24/3 予想
制御事業	6,711	7,899	18,000
計測機器事業	△2,898	△801	△3,000
その他事業	58	△282	0
合計	3,871	6,816	15,000